

【まちの総務的】 「デジタル推進サポートプログラム」

国が推奨しております「デジタル化推進」 経済産業省 DXレポート2.2より
企業単位ごとでは無く産業界で横串をさした仕掛け作りを推奨しております
そのためのポイントは2つ

- デジタル環境の底上げ
- デジタル人材の育成

「デジタル推進サポートプログラム」とは中小製造業向けに「デジタル化環境底上げ」と
「デジタル人材の育成」を体系的にサポートするプログラムです

【前提条件】

- 事業種別
機械加工での一般的な製造業（生産物問わず）
- 企業規模層別
 - A：大企業：従業員を300名以上と想定
 - B：中堅製造業：従業員100名～300名位を想定
 - C：中規模から小規模事業者：30名～100名位を想定
- ITシステムの定義
 - 生販在システム：生産管理的な複合管理システム
 - SaaSシステム：汎用的な業務管理システム
 - ノーコードツール：事務系の台帳管理システム
 - Excel管理：Excelを活用した事務処理業務一般

【まちの総務的】 「デジタル推進サポートプログラム」

➤ 企業規模層別	大括りな課題	経営者の思い	目指す姿
A : 大企業	既存生販在システム リニューアルの苦難と改修	社内のデジタル人材と システムを抱えている ので進まざるをえない	デジタル化最新技術の 全体的な底上げ
B : 中堅製造業 100名~300名	既存生販在システムの 老朽化 方向性が見えない	過去のデジタル投資での トラウマもあり消極的 人員不足と予算が課題	デジタル化技術者の 技術力底上げ
C : 中規模から 小規模事業者 30名~100名	既存システムなく人海戦術 デジタル化進まず	デジタル化は 予算も人員も不足 DXは他人事	デジタル化への 最初の一步を進める

【まちの総務的】 「デジタル推進サポートプログラム」

➤ 企業規模層別	課題重要度	課題対応策
A：大企業	✕ 低度	潤沢予算とシステム化人材（自社、ベンダー含む）にて課題解決を行う 生販在システムのリニューアルや新規技術を取り入れ 業界の底上げを行う
B：中堅製造業 100名～300名	△ 中度	システム化人材の育成を中心に進めて既存生販在システムのリニューアル 汎用システム（SaaS）を積極的に評価導入して 効率事例を積み上げる
C：中規模から 小規模事業者 30名～100名	○ 高度	早急なデジタル化人材育成は保留 汎用業務システム（SaaS、ノーコードツール）の 運用出来る人材を育成

【まちの総務的】「デジタル推進サポートプログラム」

➤ 企業規模層別

まちの総務の立ち位置

A：大企業

対象外

B：中堅製造業
100名～300名

デジタル人材育成と運用充実をセットにデジタル化推進を行う

※前提として汎用性のない自社オリジナル業務は、今回の対象から除く

・既存業務のSaaSシステムへの置換検討

・Excelでの台帳管理の仕組みの移行と教育

ノーコードツール「kintone（サイボウズ社）」を活用しシステム構築と併せて社内開発人員育成を行う

「まちの総務」の役割は構築手順や設計方法をレクチャー

C：中規模から
小規模事業者
30名～100名

規模的にデジタル人材育成は時間がかかるので**運用担当者として推進側に注力**

・既存業務のSaaSシステムへの置換検討

・Excelでの台帳管理の仕組みの移行

実績のあるSaaSとkintone内の標準アプリを導入してデジタル化への足がかりを作る

予算規模的にも厳しいので汎用製品を月額経費でシステム環境を整える

「まちの総務」の役割はSaaSシステム製品の選定、運用マニュアル等をサポート

【まちの総務的】 「デジタル推進サポートプログラム」

➤ 企業規模層別

既存業務のSaaSシステムへの置換検討

業務種類
(内容例)

営業：顧客管理、名刺管理、車両管理
総務：グループウェア、電子帳票、文書管理、電子契約
人事：給与計算、勤怠管理、人事評価
経理：会計ソフト、請求書発行、経費精算、契約書管理
生産：固定資産管理、生産管理、在庫管理、購買管理
品質：設備管理、計測器管理、監査対応管理、変更点管理

B：中堅製造業
100名～300名

SaaS製品評価導入

【まちの総務役割】 SaaS製品選定アドバイス、導入事例の紹介、Q&Aサポート

C：中規模から
小規模事業者
30名～100名

SaaS製品評価導入

【まちの総務役割】 SaaS製品選定アドバイス、導入事例の紹介、Q&Aサポート
社内関係者調整（稟議書作成）、導入サポート、運用マニュアル作成

【まちの総務的】 「デジタル推進サポートプログラム」

➤ 企業規模層別

Excelでの台帳管理の仕組みの移行

業務種類 (内容)

品質部門：クレーム台帳、監査履歴、計測器校正管理、4M管理
設計技術：試作履歴管理、設計図面管理、コスト余日管理
設備技術：設備管理（発注、点検、トラブル）
生産管理：製品歩留管理、不良集計、生産進捗管理、外注管理
製造部門：人員計画、生産履歴、製造標準書管理
購買管理：サプライヤー管理、在庫管理、材料管理

B：中堅製造業
100名～300名

台帳管理のシステム化（ノーコードツール活用）**導入と社員教育**

【まちの総務役割】 ノーコードツール「kintone（サイボウズ社）」活用しシステム構築と併せて社内開発人員育成を行う、導入事例の紹介、Q&Aサポート

C：中規模から
小規模事業者
30名～100名

台帳管理のシステム化（ノーコードツール活用）**導入**

【まちの総務役割】 ノーコードツール「kintone（サイボウズ社）」を活用しシステム導入導入事例の紹介、Q&Aサポート

【まちの総務的】 デジタル課題のフレームワーク

	B : 中堅製造業 100名~300名	C : 中規模から小規模事業者 30名~100名
目的	社内デジタル人材育と現行業務をシステムに合わせ込む力を付ける	現行業務をシステムで運用する力を付ける
内容	提案する汎用業務システムを自社業務に置換しデジタル化推進を図る 併せて自社内でも修正改修可能なデジタル人材育成を行いデジタル化の底上げを行う	提案する汎用業務システムを自社業務に置換しデジタル化推進を図る
ツール群	別表参照	
方法論	デジタル人材教育フレームワーク活用、FQAヘルプセンター活用（チャットポッドも視野に）、ノウハウ事例コミュニティ	FQAヘルプセンター活用（チャットポッドも視野に）、ノウハウ事例コミュニティ
人員構成	運用人員 改修人員（併せて最低5名から）	運用人員（最低5名から）
費用	教育訓練費と併せてシステム導入サポート費用 月額15万円～（福利厚生費の教育訓練費経費計上）	システム導入サポート費用 月額3万円～

【まちの総務的】 デジタル課題のフレームワーク

	B : 中堅製造業 100名~300名	C : 中規模から小規模事業者 30名~100名
サポート側 運営チーム	デジタル人材教育訓練カリキュラム体制：仕様設計（テーブル構造）、ノーコードツール活用方法 業務ヒアリング体制：顧客ニーズ把握 システム導入体制：社内説得資料提供、社内運用体制構築、導入サポート体制構築、運用マニュアルサポート、システムサポート体制 FQAヘルプ環境：ヘルプ事例の収集と公開、チャットポッド環境整備 ノウハウ事例コミュニティプラットフォームの運営：相互掲示板の運営	業務ヒアリング体制：顧客ニーズ把握 システム導入体制：社内説得資料提供、社内運用体制構築、導入サポート体制構築、運用マニュアルサポート、システムサポート体制 FQAヘルプ環境：ヘルプ事例の収集と公開、チャットポッド環境整備 ノウハウ事例コミュニティプラットフォームの運営：相互掲示板の運営

【まちの総務的】 デジタル課題のツール群

➤ SaaS製品事例

部門	ツール群
総務人事	マニュアル作成、文書管理、会議室予約、勤怠管理 eラーニング、受付管理、人事評価、電子契約
経理・会計	会計ソフト(財務会計)、請求書発行、経費精算、固定資産管理
生産・企画	生産・販売管理、生産管理システム、在庫管理、受発注管理、原価管理 購買管理、倉庫管理、工程管理

➤ Kintone製品事例

部門	ツール群
総務人事	来訪者の情報管理、会議室利用、人事採用/変動の集計作業
品質管理	クレーム管理、顧客監査管理、QC工程図管理、4M履歴管理
生産・企画	人員計画、歩留まり管理、トラブル不良集計、生産進捗管理、購買管理
製造、設備技術	製造計画/実績管理、製造履歴管理、製造標準作成 設備管理台帳（点検、トラブル管理）、計測器（校正）管理